

## 龍ヶ崎市ウォーターPPPマーケットサウンディング(第1回) Q&amp;A

令和8年1月23日時点

No.	資料 頁番号	質問事項	質問内容	回答
1	p.19	検討対象業務について	現状において市から民間へ発注されている業務は、検討対象業務として含まれているという認識でしょうか。	ご認識のとおりです。 補足として、現状市が発注している業務に加え、統括管理等が追加されているほか、これまで市が直営で行っていた業務(排水設備関連業務、現地対応、苦情対応等)も含まれております。
2	p.19	検討対象業務について	管きよの調査はこれまで行われていたのでしょうか。 また、緊急の調査等については都度民間事業者へ発注しているのでしょうか。	管きよの調査はストックマネジメント計画に基づいて実施しております。緊急の調査等については、その都度発注し対応しております。
3	p.19	検討対象業務について	計画的修繕の定義を教えてください。また、ウォーターPPPに含まれる修繕と個別発注の改築の線引きはどのように考えているのでしょうか。	一般論として、更新工事により耐用年数が回復するものを改築、現状のものの利用を継続する場合を修繕と認識しております。 現時点では、工事金額による線引きは行っておりませんので、今後検討していく事項となります。指針となる基準等があればアンケート上でご回答ください。
4	p.25	広域化について	龍ヶ崎市のウォーターPPP導入のどの段階で茨城県流域との広域化を判断するのでしょうか。 また、龍ヶ崎市単独でウォーターPPP導入を進める場合、茨城県の方針に影響され、実施方針が変更となる可能性はありますか。	現時点で龍ヶ崎市は、広域型と市単独のウォーターPPPを並行して検討している段階であり、今回のマーケットサウンディングでお示ししている内容は、市が単独でウォーターPPPを導入する場合を想定したものになります。 茨城県流域との広域化のスケジュールについては、茨城県におけるウォーターPPP導入が検討段階であるため、現時点で市から明確に示すことができません。なお、茨城県流域はR8公募の予定で進んでおりますので、県の公募開始前までは、市としての方針をお示しできると考えております。 また、龍ヶ崎市単独でウォーターPPP事業の導入が確定した場合、県の方針が変更となった場合でも、市の事業方針は、10年間の事業期間終了後の見直しとなると想定しております。
5	p.9, p.19	更新支援型の業務対象について	資料9ページで示されている業務の項目と19ページの対象業務は対応しているのでしょうか。 また、19ページの「統括管理」とは具体的にどのような業務か教えてください。	9ページの項目と19ページの対象業務は対応しております。 統括管理の役割として、まだ確定ではありませんが、自治体との連絡の窓口一本化のための役割や、業務報告書の取りまとめ、全体の工程管理などが考えられます。
6	p.19	検討対象業務について	下水道関係(維持管理)で年間何件程度業務を発注しているか教えてください。	R6年度の実績として、個別の修繕等も含めて、概ね年100件程度発注しております。
7	p.19	検討対象業務について	ストックマネジメント計画の範囲を教えてください。農業集落排水施設や管路施設も含まれているのでしょうか。	現状、ストックマネジメント計画は公共下水道事業の汚水に関してのみ実施しております。
8	p.18	対象範囲について	雨水の管路が示されていますが、公共下水道の事業計画の範囲の管路が対象でしょうか。	雨水の管きよについては、公共下水道事業計画の範囲内の管きよのみを対象とすることを検討しております。
9	p.28	アンケートについて	Microsoft formsでの回答について、一時保存や、複数人での回答共有は可能でしょうか。	一時保存は可能ですが、複数人での回答の共有は不可能であるため、社内の複数人で回答される場合は回答を集約していただく必要があります。
10	p.22	管理・更新一体マネジメント方式について	現状では、「更新支援型(CMを含まない)を選択することを想定」とありますが、今後更新実施型等への変更はありえるのでしょうか。	更新支援型(CMを含まない)はあくまで現段階の検討状況を示しているものです。マーケットサウンディングでの回答結果によっては変更することもあります。
11	p.28	アンケートについて	excel型式やword型式でアンケートに関する資料を配布いただくことは可能でしょうか。	質問の一覧を提供することは可能です。後日市HPで書式等を公表いたします。なお、アンケートの回答は、formsからご回答いただけますと幸いです。
12	p.19	検討対象業務について	事業規模はいつ公表される予定でしょうか。	現時点で検討段階にあるため未定ですが、例えば2回目のマーケットサウンディングまでには公表する等を検討しております。